

[様式13-表] 【海外】転学部・転学科奨学金継続願

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり転学部・転学科しましたので、引き続き貸与奨学金の継続をお願いします。また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間（終期）を下記のとおり延長することを願います。

なお、返還誓約書（兼個人情報情報の取扱いに関する同意書）で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間（終期）の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書（兼個人情報情報の取扱いに関する同意書）及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

■奨学生本人欄 ※氏名は自署が必要です。原本を郵送で提出してください。

借用金額が増額しない場合は、インターネット提出が可能です。

記入日	(西暦)	年	月	日	生年月日	(西暦)	年	月	日	(満 歳)
奨 学 生 番 号					フリガナ					
			0							
					氏名	(自署)				

■願出の内容
(1) 学部・学科等

転出・転入内容				転学部・転学科年月	卒業予定年月(貸与終期)
転出 学部(科)	学校名	学部・課程	学科・研究科	(西暦) 20 年 月 まで在籍	当初の卒業予定年月 (西暦) 20 年 月
転入 学部(科)	学校名	学部・課程	学科・研究科	(西暦) 20 年 月 より在籍	転学部(科)後の卒業予定年月 (西暦) 20 年 月
「奨学金貸与月額変更願(届)」の提出の有無				転学部後の卒業予定年月	
☐ 提出しない ※転学部・転学科奨学金継続の手続きに併せて貸与月額の変更を希望する場合は、				☐ 在籍証明書に記載の卒業予定期を記入した。	
☐ 提出する 【海外】貸与月額変更願を同時に提出してください。				☐ 学校担当者と相談の上、卒業予定期を記入した。	

(2) 借用金額 ※転学部(科)により卒業予定年月が延長したり、貸与月額を増額する等、借用金額が増加する場合は記入してください。

借用金額の増加に伴い保証料月額が変更となります。

借用金額(予定)									円
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※「借用金額」は、転学部(科)前に予定していた借用金額と、転学部(科)により貸与期間を延長することで貸与される金額の合計金額を右詰めで記入してください。

採用時に入学時特別増額貸与奨学金を貸与している場合は、当該金額を含めて記入してください(裏面「借用金額の記入例」を参照)。

※借用金額を誤って記入した場合は、裏面「借用金額の訂正方法」に従って訂正してください。

■連帯保証人・保証人記入欄

連帯保証人	私は、上記の貸与期間（終期）の延長等により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。
	住所 〒 — 電話番号 ()
保証人	氏 名 (自署)
	住所 〒 — 電話番号 ()
連帯保証人	氏 名 (自署)
	住所 〒 — 電話番号 ()

(注) 連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)の添付が必要です。

機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人変更届」を提出してください。

■親権者又は未成年後見人欄

(本人が未成年者(18歳未満)の場合のみ記入)

上記の者が現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

本人が未成年者(18歳未満)の場合は親権者の同意を得てから親権者欄に記入してください。後見人がいる場合は同じく後見人の同意を得たうえで記入してください。

親権者又は未成年後見人	(親権者1又は・未成年後見人)
	住所 〒 —
	氏 名 (自署)
	電話番号 ()
親権者2)	(親権者2)
	住所 〒 —
	氏 名 (自署)
	電話番号 ()

法は人利てご等用、記かさから該奨ま情だ金ん（いの。奨た重機学情複関金報受保の及給証返びの加還あ防入状な止者況たの等のにののつ関奨たいす学めてる金には情に照、報関会機をすが構含る情があが保むつ保有がは場す、、合る学奨は個校学金適正金貸適正融与な機業範の関務困ち、（内保文証部還お管科業い理学務てに省をあ必及含な要びむの情務の情報委託めが保先に提証に利供機必用されににれま提応ます供じす。さて。れ提のすさ利用ま目的、がの行、適政そ正機のな関他範及の囲び目内に益にお

添付書類

- 次の(a)～(g)の内容が記載された、転学部(科)先の在籍証明書(発行年月日が異動年月から3か月以内のもの、日本語訳添付)
 - (a) 発行日
 - (b) 本人氏名
 - (c) 学校名
 - (d) 転学部(科)した年月
 - (e) 新しい学部・学科名
 - (f) 転学部(科)先で取得可能な学位
 - (g) 新しい卒業予定年月
- ※在籍証明書にすべての内容が記載されていない場合は、成績証明書、履修証明書等、別に発行された証明書を適宜添付すること。
- アカデミックカレンダー(学校名、最終試験／授業月に日本語訳添付)
- 【借用金額が増加する場合のみ】連帯保証人の印鑑登録証明書(原本)
- 【借用金額が増加する場合のみ】保証人の印鑑登録証明書(原本)

提出期限

- 転学部(科)した日から3か月以内
- ※3か月以上経過して提出する場合は、提出遅延の理由を記した事情書(書式任意)の添付が必要。

借用金額の記入例

例) 当初の貸与期間(予定): 2024年4月～2028年3月(48か月)
当初の借用金額(予定): 入学時特別増額貸与奨学金 300,000円+ (月額 50,000円×48か月) = 2,700,000円

※2026年4月にA学部からB学部へ転学部、卒業が2029年3月に延期※

A学部での貸与期間: 2024年4月～2026年3月(24か月)

A学部での貸与月額: 5万円

B学部での貸与期間: 2026年4月～2029年3月(36か月)

B学部での貸与月額: 10万円(貸与月額を増額)

【計算式】

① 入学時特別増額貸与奨学金:		300,000円
② A学部での借用金額(2024年4月～2026年3月):	50,000円×24か月＝	1,200,000円
③ B学部での借用金額(2026年4月～2029年3月):	100,000円×36か月＝	3,600,000円
①～③の合計		5,100,000円

借用金額の訂正方法

「借用金額」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正してください。

- ① 本人署名横に本人印を押印する。

フリガナ	ショウガク タロウ
氏名	(自署) 奨学 太郎 (奨学)

- ② 金額全体(1円の単位までのすべての数字)を二重線で消す。一部訂正不可。

借用金額 (予定)	4 2 0 0 0 0 0 円
--------------	--

- ③ 二重線の上から、本人印(本人署名横同一印)、連帯保証人実印、保証人実印を訂正印として押す。
※それぞれの印が重ならないように押印してください。

借用金額 (予定)	4 2 0 0 0 0 0 円	
本人	連帯保証人	保証人

- ④ 余白に正しい借用金額を記入する。

借用金額 (予定)	5100000円	
本人	連帯保証人	保証人